

WebSphere® Process Server Hypervisor Edition



バージョン 6.2

クイック・スタート・ガイド

このガイドを使用して、IBM® WebSphere® Process Server Hypervisor Edition を WebSphere® CloudBurst アプライアンスにロードし、用意されているパターンのいずれかを仮想システムにデプロイする作業を開始できます。WebSphere CloudBurst アプライアンスなしでスタンドアロンで操作するために WebSphere Process Server Hypervisor Edition イメージをロードすることもできます (Linux でのみ使用可能)。



各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、クイック・スタート・ガイド・パッケージにアクセスしてください。

製品の概要

IBM® WebSphere® Process Server Hypervisor Edition には、内蔵タイプの仮想マシン・イメージが含まれ、このイメージには、ゲスト・オペレーティング・システムおよび WebSphere Process Server Version 6.2 が組み込まれています。WebSphere CloudBurst アプライアンスと組み合わせて使用すると、WebSphere Process Server Hypervisor Edition は、仮想化された WebSphere Process Server 構成の構築、デプロイ、および保守の機能を提供します。

1 ステップ 1: ソフトウェアおよび文書の入手



製品をパスポート・アドバンテージからダウンロードするには、以下のダウンロード文書の指示に従ってください。
<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg24026233>

この製品オファリングの内容は以下のとおりです。

- クイック・スタート・ガイド・パッケージ
- WebSphere Process Server Hypervisor Edition パッケージ

WebSphere CloudBurst アプライアンスに WebSphere Process Server Hypervisor Edition イメージをロードするため、またスタンドアロン操作向けにイメージをロードするため (Linux のみ) の詳細なドキュメンテーションは、WebSphere Process Server Hypervisor Edition インフォメーション・センター (<http://www.ibm.com/software/integration/wps/library>) にあります。

2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



システム要件の詳細については、<http://www.ibm.com/software/integration/wps/hv/requirements/> を参照してください。

3 ステップ 3: 製品のロード



ここでは、イメージ・ローダーのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して WebSphere CloudBurst アプライアンスに製品をロードする方法の概要を説明します。

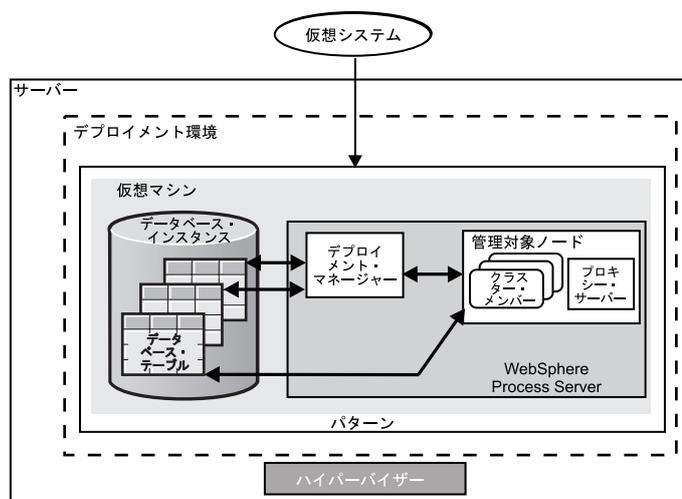
- A. ダウンロード・パッケージを抽出します。
- B. パッケージを抽出したルート・ディレクトリーの **loader.bat** または **loader.sh** を実行します。
- C. 仮想イメージおよびパターンのロード先アプライアンスの「**ホスト名**」を入力します。
- D. そのアプライアンスにアクセスするために必要な「**ユーザー名**」と「**パスワード**」を入力します。
- E. オプション: イメージ・ローダーを実行するマシンのデフォルトの「**言語**」を設定します。
- F. オプション: 「**テスト接続**」をクリックして、イメージ・ローダーが正常にアプライアンスにアクセスできることを確認します。検出されるすべての接続の問題を解決します。

4 ステップ 4: パターンのデプロイ

ここでは、仮想システムに事前定義パターンをデプロイする方法の概要を説明します。

- A. WebSphere CloudBurst アプライアンスの管理コンソールにログインし、「カタログ」 > 「仮想イメージ (Virtual Images)」にナビゲートして、ステップ 3 でロードしたイメージについてのライセンスを受け入れます。
- B. WebSphere CloudBurst アプライアンスの管理コンソールのメニュー・バーから、「パターン」を選択します。
- C. 事前定義パターンのいずれか、例えば「WebSphere Process Server V7.0.0.2 のシミュレートされたスケーラブル環境 (Simulated Scalable Environment for WebSphere Process Server V6.2.0.2)」を選択します。
- D. ビューアー領域の「デプロイ (Deploy)」をクリックします。
- E. 新しい仮想システム用の名前を入力し、「仮想パーツの構成 (Configure virtual parts)」リンクをクリックします。
- F. 各パーツを選択し、CPU フィールドとメモリー・フィールドのデフォルト値を受け入れ、それぞれのフィールドについてパスワードを入力して、「OK」をクリックします。

選択したパターンに基づいてデプロイされた仮想システムを以下の図に示します。



5 ステップ 5: アプリケーションのデプロイ

ここでは、アプリケーションのデプロイ方法を説明します。

- A. メニュー・バーの「仮想システム (Virtual Systems)」を選択します。
- B. ステップ 4 で指定した名前を見つけて、新規作成した仮想システムを選択します。
- C. 「仮想マシン (Virtual machines)」セクションを展開します。
- D. 仮想マシンを展開し、「コンソール (Console)」 > 「WebSphere」にナビゲートします。
- E. ユーザー ID 「virtuser」とステップ 4 で指定したパスワードを使用して、WebSphere 管理コンソールにログオンします。
- F. WebSphere 管理コンソールを使用して、アプリケーションをデプロイします。

その他の情報

その他のテクニカル・リソースについては、以下のリンクを参照してください。

- WebSphere Process Server ドキュメンテーション (<http://www.ibm.com/software/integration/wps/library/infocenter/>)